

平成20年3月31日

鹿児島県議会議長
金子 万寿夫殿

日本共産党県議団
まつざき 真琴

事業実績報告書

本年度の政務調査費に関する主な事業の実施状況は次のとおりです。

1 事業実績概要について

県議としての2期目に入った今年度は、これまでより一層、住民や自治体の要望を聞く取り組みに力を入れるとともに、法律や国の施策の地方に及ぼす影響やその問題点について把握するために、県が開催する会議や審議会等を傍聴する機会をもつことに努め、それを本会議の質問や委員会の審議に積極的にいかしてきた。

また、県政報告会や「県議会ニュース」、県議団のホームページ上でその内容を報告し、広く県民から意見や要望を聴取することに努めた。

2 事業実績内容について

(1) 県政の調査研究について

ア 会議開催

| 開催年月日 | 場所 | 参加 | 会議主題 |
|-------------|-----|----|----------------|
| 19年6月4～5日 | 県議会 | 1名 | 県政の主な施策についての調査 |
| 19年9月11～12日 | 県議会 | 1名 | 県政の主な施策についての調査 |
| 19年11月22日 | 県議会 | 1名 | 県政の主な施策についての調査 |
| 19年2月13～14日 | 県議会 | 1名 | 県政の主な施策についての調査 |

イ 視察・研修・陳情活動等

| 開催年月日 | 場所 | 参加 | 会議主題 |
|------------|----------|----|----------------|
| 19年 5月16日 | 薩摩川内市 | 1名 | 産廃最終処分場現地調査 |
| 19年 8月 5日 | 県民交流センター | 1名 | 子ども医療費助成学習会 |
| 19年 8月 6日 | 鹿児島地域振興局 | 1名 | 県道問題陳情 |
| 19年 9月1～2日 | 横浜市 | 1名 | 自治体学校参加 |
| 19年 9月 4日 | 県庁 | 1名 | 県道問題陳情 |
| 19年 9月20日 | 武岡台養護学校 | 1名 | 武岡台養護学校マンモス化調査 |
| 19年10月13日 | 鹿児島市 | 1名 | 県政問題要求懇談会 |
| 19年10月21日 | 鹿屋市 | 1名 | 鹿屋中学校セクハラ問題調査 |
| 19年11月 5日 | 県庁 | 1名 | 対県交渉 |

| | | | |
|--|----------|----|-------------------|
| 19年11月21日 | 東京都 | 1名 | 政府交渉 |
| 19年12月1日 | 鹿児島市 | 1名 | 労働災害セミナー参加 |
| 19年12月21日 | 自治会館 | 1名 | 地域ケア構想策定委員会傍聴 |
| 20年1月17日 | 県庁 | 1名 | 男女共同参画部会傍聴 |
| 20年1月18日 | 鹿児島地域振興局 | 1名 | 将来ビジョン地域懇談会傍聴 |
| 20年1月25日 | 福岡市 | 1名 | 原油高騰に関する九州産業局への陳情 |
| 20年1月30日 | 県庁 | 1名 | 将来ビジョン有識者懇談会傍聴 |
| 20年2月2日 | 志布志市 | 1名 | 志布志事件現地調査 |
| 20年2月4日 | 出水養護学校 | 1名 | 特別支援教育についての調査 |
| 20年2月5日 | 県庁 | 1名 | 国民保護計画図上訓練視察 |
| 20年2月7～8日 | 志布志市 | 1名 | 志布志事件現地調査 |
| 20年2月22日 | 鹿児島大学 | 1名 | 農業問題調査 |
| 20年3月2日 | 鹿児島市 | 1名 | 保険医協会講演会 |
| 20年3月20日 | 鹿児島市 | 1名 | 薬害肝炎救済説明会参加 |
| 上記の他、県内各地で、研修、調査を実施。全てを「政務調査活動報告書」に記載。 | | | |

ウ その他

県政上の課題や問題点、更に、国の制度についての理解のため、参考となる資料や書籍の購入を行った。

また、県内のさまざまな団体と懇談し、実情の理解や問題点の把握に努めた。

(2) 広報活動について

一般質問を行う議会では、事前に「県議会ニュース」で質問の日時と質問趣旨について広報し、傍聴を案内した。議会後には、「県議会ニュース」で議会の審議の内容や議員団の取り組みについて、広報を行った。

また、議員団のホームページで、議会での一般質問や討論などの発言について、素早く掲載することに努めた。

他に、宣伝カーやハンドマイクで、街頭演説を行い、県政の課題や問題点、議員団としての政策や方針などを広く訴えた。

さらに、「県政報告会」を開催し、直接に質問、意見・要望などを聴取する機会を持った。

3 事業の成果について

法律や国の施策について調査するための研修会に参加したり、書籍等で調査をおこなったりする中で、それらの課題や問題点について、把握することができ、国や県に対しての陳情活動にいかすことができた。

また、加えて、県民から寄せられた相談や陳情、その他情報について、現地に赴き、調査し、それを本会議での質問や常任委員会での審議等に活かすことができた。

特に今年度は、国会議員との連携により、調査を深めることができ、それを議会での質問にいかすことができたことが大きな成果と言える。

また、会派としての調査してきたことを、県議会全体の議論に反映させることができ、それが議会としての提言としてまとめ、実際に来年度の予算に計上されたことも、特筆すべき大きな成果と言える。